

中部日本ニュース

シネスコ版

38.7.19

No. 496

11307 ト-770へ送加

高知新聞ニコス
新報改訂新聞ニコス
7月1日新聞ニコス
に3マカ1日石湖川
同山麓同

no. 331
no. 159
no. 170

一、ハイウエー時代の幕ひらく

——神戸、京都、滋賀

名古屋、大阪間を二時間で結ぶ夢のハイウエー名神高速道路の尼崎、栗東間七十一キロが七月十五日開通しました。

河野建設大臣を先頭に二百台の車が祝賀パレードを行ないその誕生を祝いました。こうして世界に立ちおくれた日本のハイウエーにもようやくその到来を迎えたのです。

一、晴れの日本代表きまる

——ミス・インターナショナル

——東京

「我れこそは」と一九六三年度ミス・インターナショナルに応募した四十五人のお嬢さんが、このほどゆかた姿で東京に勢ぞろいしました。迎えて七月十五日は晴れのコンテスト。

日本一の美女を競おうとカクテルドレスで登場、第一次審査に臨みます。中盤戦を迎えた舞台では、カクテルドレスから華やかな水着姿と変わり、どうやら場内も熱つぼくなつて来たようです。

知性と健康美を売ることコンテストもいよいよ終盤戦をむかえ、一際はげしく質問をあげせる審査員、一方こちらは「マイク片手に我れこそは美人なり」と表情豊かなお嬢さんも得意満々。

こうして、厳格な審査も終り、全国から集つた四十五人の中から晴れの日本代表に東京の清水静子さんが選ばれました。

アイモ風土記

一、富士山麓の周辺

——静岡、山梨

富士山麓。時に東富士山麓は戦後数々の社会問題を投じた所でした。しかし同じ山麓でも東と西とは全く異り、西の山麓では「日本のデンマーク」と呼ばれる程、乳業が盛んです。また富士吉田を中心とする北富士は浅間神社が表徴するように山岳信仰のメッカとして古くから展らけていました。

「御師の家」即ち信者達がねとまりする宿泊所が立ち並び、昔はこの家を「ベースキャンプ」に「白しようにぞく」の信者で賑ったのです。しかしこうした母影は影をひそめ、今日では河口湖畔へと移つていきました。

近年はハイウエーも整備され、富士山のアルピニズムが満喫出来るというものです。

山の性格も、信仰からバカンスへと変わり今では若者達で賑っています。夏は海水浴、冬はスケートと、山と湖の魅力がこの山麓一帯を潤しているのです。

だがこの地方にも繁栄から取り残された寒村があります。僅かながらの集落が、かつては甲州一円に通貨を掘り出した金の都も、魔坑によって再びさびれていく運命にあったのです。

その反面、寒村の近くに戦後入植した開拓者達が、国や県の助成金で牛を飼い生活も向上していきました。そして今日では「日本のデンマーク」とまで呼ばれるようになったのです。

65307

39907

16407

907